



はじめに

札幌市長 秋元克広

2025年、札幌市と瀋陽市が、1980年11月18日に友好都市提携を結んでから45年という記念すべき節目を迎え、このたび記念誌を発刊する運びとなりましたことを、大変嬉しく思います。

これまで、長きにわたり両市の友好関係を支えてこられた多くの市民の皆様、そして関係者の皆様に、心より敬意を表し感謝を申し上げます。

緯度が近く四季折々の表情を持つ両市は、提携以来、「古くからの友人」として、スポーツ、文化、経済、まちづくりなど多岐にわたる分野で交流を深めてまいりました。

前回の40周年という節目は、世界的な新型コロナウイルスの流行により直接的な往来ができませんでしたが、私たちは防護服やマスクの相互支援、オンライン交流などを通じて互いを励まし合い、困難な時期にこそ揺るがない絆の強さを確認し合いました。45周年を迎えた2025年は、両市の交流が再び活気を取り戻し、新たなステージへと進む象徴的な年となりました。

同年8月には、青少年武術団をはじめとする瀋陽市の皆様を札幌にお迎えしました。「チャイナフェスティバル2025札幌」のステージで披露された力強い武術演舞は多くの市民を魅了するとともに、両市の青少年武術団同士の交流も行われ、このほか、会場に札幌市が設置した45周年記念ブースを通じ、来場者のみなさまに両市のつながりを再確認頂くなど、心温まる触れ合いの場となりました。

また、11月には、呂志成(りょ・しせい)市長からのご招待を受け、私をはじめとする札幌市から多くの関係者が瀋陽市を訪問いたしました。現地では、記念イベント「Hello,瀋陽」や記念レセプションなどに参加し、熱烈な歓迎を受けながら両市の友情を再確認いたしました。

今回の訪問では特に「食」が大きなテーマとなり、現地で開催した「北海道フードフェア in 瀋陽」では、札幌・北海道の豊かな食の魅力を瀋陽の皆様へ直接お届けすることができ、今後の両市における経済交流の可能性を大きく広げる機会となりました。

本記念誌は、こうした45周年記念事業の記録を中心に、両市が紡いできた交流の歴史と成果をまとめたものです。ページをめくるごとに蘇る笑顔や感動が、皆様にとって両市の友好の深さを再認識するきっかけとなれば幸いです。

いよいよ次は、提携50周年という半世紀の大きな節目が待っています。今後は、45周年で得た新たな知見と深めた信頼を礎に、様々な試練を乗り越え、両市の友好関係がその先の未来へとより力強く発展していくよう、引き続き力を尽くしてまいります。

結びに、瀋陽市の益々のご発展と、両市民の末永い友情を祈念申し上げ、発刊のご挨拶といたします。